

白石市職員人事におけるキャリア 選択希望制度について

佐藤 聡一



〔質問〕行政サービスを高い水準で効率的に実施・継続していくためには、特定の行政分野において、専門知識と経験を持った職員の育成が必要と考える。

本市では、キャリア選択希望制度がすでに実施されているが、現在は税務分野に限られている。

今後、ほかの分野への適用も考えているのかを伺う。

〔答弁〕【市長】行政に求められる役割が多様化・高度化する中で、さまざまな分野におけるスペシャリスト育成の必要性は感じている。限られた職員の中で、さまざまな業務を経験

することで、職員の多面的な能力を開発するゼネラリスト育成とのバランスを図りながら、必要に応じ、ほかの分野への適応を検討していきたい。

◎防犯カメラの設置について

〔質問〕昨年、安全・安心まちづくりICT推進機構との間で「防犯カメラを併設した自動販売機の設置及び管理に関する協定書」が結ばれ、15台の防犯カメラが設置された。

今後、この防犯カメラ設置拡大の予定や考えがあるのかを伺う。

〔答弁〕【市長】本市の公共施設に設置している自動販売機は、今回設置した防犯カメラの対象自販機である。

新たに自販機を設置する場合は、前向きに

防犯カメラの設置を検討する。

また現在、この協定を活用した防犯カメラ設置を、商工会議所を通じて市内の事業所へお願いしているところである。

◎観光振興策について

〔質問〕観光振興策として考えている方策・方針を伺う。

〔答弁〕【市長】本市の観光資源を発信するため、これまで年4回の定例記者会見を毎月行うとともに、さまざまなメディアを通して内外に情報を発信している。

このほか、インバウンド観光振興による地方創生を目的とした、県南4市9町をエリアとする日本版DMO（観光地域づくりを行う法人）の設立に向けて動いている。

今後は、官民が一体で取り組みながら、明確なコンセプトマーケティングに基づき、観光による地域の稼ぐ力を引き出していきたい。

学校統合準備委員会と専門部会の 開催状況と協議内容等について

松野 久郎



〔質問〕準備委員会と専門部会について、これまでの開催回数及び協議内容と決定事項等について伺う。

〔答弁〕【教育長】白石第二小学校と斎川小学校の統合については、第1回準備委員会を6月28日、専門部会を8月26日にそれぞれ開催し、ワークショップ方式で課題の洗い出しを行った。

その後、10月26日に第2回専門部会を開催し、第1回での課題等について確認・調整等を実施し、12月1日に第3回の専門部会を開催した。

中学校においては、東中学校と白川中学校の統合準備委員会を8月19日に行い、第1回専門部会を11月29日に

開催した。白石中学校と南中学校については、8月12日に統合準備委員会を開き、12月8日に第1回専門部会を開催した。

協議内容については、総務部会と教育環境部会の2つの専門部会を設置し、調査・検討を行っている。

決定事項等については、専門部会で課題の洗い出しを行っている状況である。

〔質問〕協議内容を保護者や地域の方などのように伝えているのかを伺う。

〔答弁〕【教育長】白石第二小学校と斎川小学校においては、10月に第1回準備委員会だよりを発行し、閉校する予定の地区に全戸配布した。

また、市のホームページへの掲載については、

前向きに検討していきたい。

◎白石市情報センター（アテネ）の事業内容について

〔質問〕オープンから18年が経過し、ICT（情報通信技術）社会を迎えた中、今後の事業内容について伺う。

〔答弁〕【市長】現在、図書館の分館として、絵本コーナーや読み聞かせボランティアによる子どもの読書活動を推進している。

また、DVDの貸出し、各種パソコン講習会の開催、無料インターネットコーナーの設置、パソコン利用に関する相談の受付等、パソコン活用知識の普及を図っている。当面は、これらを継続し、今後さまざまな角度から検討していきたい。

【その他の質問】

◎各公民館、指定管理者施設の業務洗い出し調査結果とその対応について